

COVAXワクチン・サミット

茂木大臣冒頭挨拶（6月2日（水）開催）

おはようございます、こんにちは、そしてこんばんは。COVAXワクチン・サミットに参加いただき感謝申し上げます。

COVAXファシリティの設立から1年が経過しました。これまでの Gavi や各国政府・機関の御尽力に心から謝意を表します。

我々は今、コロナという危機に打ち勝てるかの瀬戸際に立っており、COVAX の役割はさらに大きくなっています。その期待に応えようという皆様の強いコミットメントに改めて感謝します。 新型コロナの感染状況は、世界的に未だ厳しいものがありますが、この困難な時にあって、勇気づけられることがあります。今日ご参加の皆様のようにより多くの国・機関が COVAX に参加し、より多くの貢献をし、公平なワクチンへのアクセスに向けたモメンタムが大きく高まっていることです。

4月には米国政府と Gavi が「COVAX ファシリティ増資準備会合」を開催し、3.5億ドルの資金が集まりました。米国のリーダーシップに敬意を表します。

COVAX に参加している我々は、対象国の人口の30%分、18億回分のワクチンを確保し、世界でワクチンを待っている人々に届けることにコミットしています。この目標に向けて、4月の準備会合終了時点では、17億ドルの資金ギャップが存在していました。

このギャップを早急に埋める必要があります。本日のサミットで、皆様から更なる協力の声が寄せられることに期待しています。そして、2時間後に、我々が、ワクチンへの公平なアクセスの確保において、新たなステージに立っていることを確信しています。

まず、本日のサミットを共催する菅義偉総理から開会の挨拶を頂きます。